

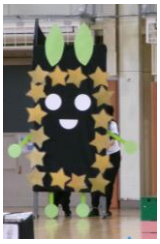
青柳園だより

２０２６年
１１月号
文京区立青柳幼稚園

一人一人の輝きを大切に

主任　　槌谷　桃代

木々の葉が風に吹かれてはらはらと舞い落ち、秋の深まりを感じる季節となりました。園庭に差し込む柔らかな日差しの中、子どもたちは、身近な自然に親しみながら元気いっぱい過ごしています。



10月24日(土)はあいにくのお天気でしたが、予定通り青柳小学校の体育館をお借りして運動会を無事に行うことができました。今年は、少人数園のよさを生かして、4歳児クラスと5歳児クラスが一緒に参加するプログラムがたくさんありました。運動会に向けた活動の中では、楽しそうに体を動かす姿はもちろん、思うようにできずに落ち込みあきらめそうになる姿、友達からの励ましに元気を取り戻す姿や友達の頑張る姿に刺激を受けて、もう一度挑戦する姿も見られました。行事は当日の成果だけでなく、そこに至るまでの過程にも大切な意味があります。友達と力を合わせること、互いに応援すること、そして自分なりに精一杯工夫して最後まで取り組むこと。そうした一つ一つの経験が、子どもたちの心を豊かにし、自信や次への意欲につながっていくのだと感じます。当日は、子どもたちの生き生きした表情や、それぞれの成長を感じていただけたことと思います。暖かい応援を送ってくださった保護者の皆様に、心より感謝申し上げます。



日々の園生活でも、子どもたちの心が育っていることを感じる場面がたくさんあります。年上の子の姿をあこがれのまなざしで見つめる子、年下の子にそっと手を差し伸べる子、友達の気持ちに気付き、寄り添う子、それぞれの育ちを丁寧に支えていきたいと考えています。



運動会の後にはゆり組ともも組が互いに運動会で見せたリズムを教え合いました。もも組の宇宙人のリズムを楽しそうに踊るゆり組、ゆり組のスペースレンジャーの衣装や持ち物を借りて、あこがれの年長組と同じように踊るもも組。運動会の緊張から解放されたこともあり、とても和やかで楽しい活動となりました。その後は、もも組とゆり組が一緒に折り返しリレーをして、もも組を気遣うゆり組の姿も見られ、互いの成長を感じることができました。

子どもたちは日々様々な経験を重ねながら、一歩ずつ成長しています。その歩みは一人一人異なりますが、どの子にも、その子らしい輝きがあります。私たち職員もその輝きを見逃すことなく、子どもたちの思いに寄り添いながら、ともに歩んでいきたいと思います。

これからも、子どもたちの成長を保護者の皆様と分かち合い、一緒に喜び合えることを大切にしてまいります。今後とも、どうぞよろしくお願いいたします。